

英語科 中学2年生

単元名 Unit7 「My Favorite Movie」

東京書籍 「NEW HORIZON 2」

単元の流れ（全10時間）

【第1次】主な学習内容

- ◇ 第1、2時 映画のキャラクターを題材に、様々な観点から比較し、[-er][-est]を用いた比較表現ができる。

具体物を用いた言語使用の場面を設定し、比較表現に慣れさせる。(ポイント①)

【第2次】主な学習内容

- ◇ 第3時 既習事項の使用を含め、[more][most]を用いた比較表現ができる。
- ◇ 第4時 教科書本文の内容を正しく理解する。

【第3次】主な学習内容

- ◇ 第5、6時 映画「E.T.」の場面を通して、不規則変化をする形容詞の比較表現を理解する。

因果関係を伝える表現に慣れ親しませ、理由を付けて述べる力を身に付けさせる。(ポイント②)

【第4次】主な学習内容

- ◇ 第7、8時 [as~as]を用いた同等比較の表現を理解し、英文を作り、表現できる。

【第5次】主な学習内容（本時）

- ◇ 第9時 数枚の写真を見て、そこからテーマを決め、比較表現を用いてまとまりのある英文を作る。

適切な資料を与えることにより、必然的に既習事項を活用して自分の考えを表現する機会を設定する。(ポイント③)

【第6次】主な学習内容

- ◇ 第10時 様々な比較表現など確認する単元確認テスト（文法復習テスト）を解く。

CLICK

単元テストはこちら

単元目標

- 比較表現を用いた言語活動に積極的に取り組む。
- 比較表現を用いた言語活動の中で、自分の考えを伝えることができる。
- 比較表現を用いて書いてある英文を読み、その内容を理解することができる。
- 比較表現の運用における基本的な知識を身に付けている。

単元構成の意図

比較・最上級を使った表現は、日常よく使われるため、自分の考えを相手に伝える 実践的コミュニケーション能力を伸ばす言語活動を設定しやすい単元である。身近な題材を用い、ペアワークを中心とした言語活動を繰り返し行い、比較表現の定着と「活用」の力の育成を図る。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 実物のボールなど具体物を用いた言語使用の場面を設定することにより、実感を伴って比較表現に慣れさせる。
- ② Why→Because の問答を繰り返し、因果関係を伝える表現に慣れ親しむ場面を設定することにより、理由を付けて述べる力を身に付けさせる。
- ③ 適切な資料を与えることにより、必然的に既習事項を活用して自分の考えを表現する機会を設定する。
- ④ 気付きを大切にし、学んだことについて自分で整理する時間をもつことにより、知識を定着させる。

HOME

本時の流れへ

評価問題